



師走に入り忙しい時節となりました。元気に冬を乗り切るためにも毎日の食事をおいしく食べて免疫力と栄養状態UPを図りましょう。さて、NST委員会が発行しているNST通信もVol.4 今年度最終便をお届けします。

似ているようで違う「やせる」と「やつれる」

当科では、糖尿病など生活習慣病の患者様を診察する機会が多いのですが、検査値が悪くなるとそれを良くするために無理な食事療法を行う患者様に遭遇することがあります。すると次の外来で明らかに「やせた」ではなく「やつれた」状態で診察室にいらっしゃることが多々あります。これではいくら検査値が良くなってもおおよそ健康とは言えません。ちなみにそれぞれの言葉を辞書で引くと意味は以下のようになります。(三省堂 大辞林 第三版より)

【やせる】体の肉が落ちて細くなる。

【やつれる】病気や心配事などのためにやせおとろえる

やつれる＝やせおとろえる所まで医療者側は求めておりません。必要十分量のエネルギー摂取を悪いこととは考えないでください。(糖尿病内分泌代謝腎臓内科 長谷川)

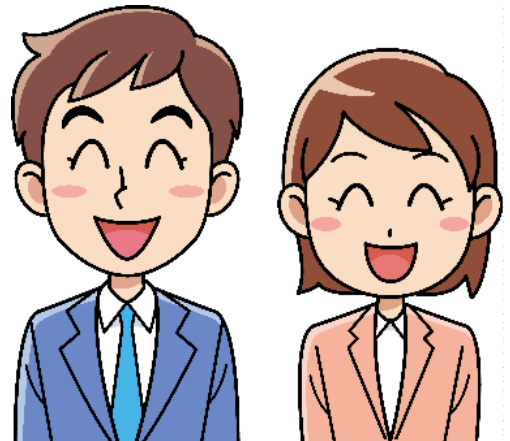


齋藤委員長が福島中央テレビのゴジテレchuの低栄養関連の特集で取材を受けました。



< 今号の内容 >

- * 似ているようで違う「やせる」と「やつれる」
- * 入院時支援加算
- * 薬剤師のちょっとしたためになる栄養剤の話



「入院時支援加算」

4月の診療報酬改定で「入院時支援加算」が新設されました。算定要件には「入院前に栄養状態の評価をして栄養管理等に係る療養支援計画を立てる」ことが含まれています。当初、NST管理システムでの運用を検討しましたが、仕様が入院患者限定で、改変に費用がかかるため、断念。他の病院の対応などを参考に、療養支援計画に反映させる内容を網羅するクリニカルパスを活用し、クリニカルパスを適用する患者さんから始めることにしました。現在は限られた診療科での適用とさせていただきますが、今後、少しずつ範囲を広げていきたいと考えています。その際は関係の方々の御協力をよろしくお願いいたします。

さて、栄養管理とは関係ありませんが、患者の皆様への苦情を受け付ける立場から、一言。仕事では、患者様に対する態度も含めてお仕事ですから、患者様には笑顔で接していただければ幸いです(^_^;)。(患者支援センター 斎藤)



～薬剤師のちょっとためになる栄養剤の話～



当院には、成分栄養剤エレンタール、半消化態栄養剤ラコール、エネーボと3種類の医薬品栄養剤があります。

成分栄養の特徴は、たんぱく源がアミノ酸でほとんど消化の必要がなく吸収も速やか。また、エレンタールは1本300kcalで脂肪が最小限しか配合してないので痔や腸などの消化管疾患に使用できます。脂肪が少ないことで腸を安静に保てるし、低残渣。ただ、長期間エレンタールだけで栄養を補おうとすると脂肪が不足するので注意が必要です。私が新人の頃、成分栄養剤はすぐまずくて「口から飲むもんじゃない」って言われていましたが、最近はエレンタールを選択する患者さんが多くなっています。さっぱりしているのがいいらしい。ちょっと味見してみました。一口なら飲めそうでしたが300mlも飲むのは無理でした。そこでフレーバーの出番。10種類の味がありますが、私は、グレープフルーツ味や青りんご味等の酸っぱい系がよかったです。コンソメ味は塩味でマスキングされるからたまにスープ代わりに飲むのにいいかも。フレーバーはメーカーから無償で提供されるので1回に2本入れたいという要望もOKです。

次に、半消化態のラコール（1本200Kcal/200ml）。採用されてから長く、皆さんお馴染みの栄養剤です。当院ではミルク味だけ。少し前までフレーバーがありました。製造中止となりました。現在、ラコールに味がついているもの（コーヒー、バナナ、コーン、抹茶）が発売されていますが、当院では採用できない。だって、そんなに採用したら、ラコールだけで調剤室が埋まってしまう…患者さんミルク味だけでごめんなさい！ラコールのいいところはパウチに入っていて持ち運びや廃棄する時にかさばらない。試飲したら、冷えたラコールはなかなか飲みやすかったですよ。

最後に、新顔のエネーボ。医薬品の栄養剤で初めてセレン・モリブデン・クロムといった微量元素、カルニチン、タウリン、フラクトオリゴ糖等が配合されています。長期に経腸から栄養管理する場合、エネーボは有用だと思われま。1本300kcal/250mlでラコールよりも濃くなっています。飲んでみるとなんとなく脂っこい感じ。味はバニラ味のみでフレーバーはありません。エネーボは、缶に入っていて重くかさばるところが薬剤部では不評です。栄養剤としてはいいものなんです…

医薬品は開発のコストがかかるため、あまり新しい栄養剤は出ません。一方、食品は、開発コストがかからない分、病態別に新製品が出てくるのです。医薬品は、保険が適応されるので患者さんは安く手に入れます。NSTとしては、栄養剤をうまく活用して少しでも低栄養の患者が減ってほしいと願うばかりです。私が選ぶとしたら…ローソンに行って大好きなドーナツ買って食べるな～400Kcal !!栄養は偏ってるけど。

(薬剤部 二瓶) ☺



エレンタール

300 kcal



ラコール

200 kcal



エネーボ

300 kcal



ドーナツ

??? kcal



【編集後記】「来年のことを言うと鬼が笑う」と言われますが、今年を振り返りつつ新たな抱負を思い描く時節ですね。機能の低下や疾患があるとしても、うまく付き合いながら自分らしく happy に暮らし続けられるよう、早期の回復を促し体を良い状態に維持するための栄養ケアと、低栄養を予防するための仕組みづくりが必要かなと思います。(NST 小林)